

はじめに

平素より地域の感染症対策にご協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には (医) を、一般施設向け情報には (一) をつけています。
ご覧いただく際に参考にしていただければ幸いです。

原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。

全数報告：第13週～第14週（3月25日～4月7日） 定点報告：第10週～第14週（3月4日～4月7日）

全数報告疾患情報

(医)

—— 市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

二類感染症	13~14週	累計（年）	五類感染症	13~14週	累計（年）
結核	4	28	梅毒	1	12
			侵襲性インフルエンザ	1	1
			菌感染症		
			水痘(入院例)	1	2

※定点報告疾患については、
第10週～第14週のグラフを別添しております

発生動向トピックス

(医) (一)

—— 麻しんが流行、医療機関での対応方法や感染対策方法は？

現在、海外での流行が国内にも広がっており、2024年第12週（3月18日～3月24日）までに10例が報告されました。2024年の累積報告数は21例となりました。詳細な内容については、下記ホームページをご覧ください。

【参考】東京都：麻しん（はしか）患者の発生について（令和6年3月11日付け）
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/03/12/07.html>

麻しんは、ヒトからヒトへと感染が伝播する感染症であり、その感染力は非常に強いと言われております。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症します。

医療機関にて、麻しんが疑われる患者を診察いただいた場合の対応方法等については、再度「千葉県麻しん対応マニュアル」をご確認ください。次ページにて、保健所にご報告・届出をいただく際に、医療機関にてご対応いただきたい項目をまとめております。

【参考】厚労省：麻しんについて

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

【参考】国立感染症研究所感染症疫学センター：医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版

<https://www.mhlw.go.jp/content/001098090.pdf>

【参考】国立感染症研究所感染症疫学センター：学校における麻しん対策ガイドライン第二版

https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/school_201802.pdf

【参考】日本環境感染学会：医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版

http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/vaccine-guideline_03-5.pdf

医療機関にてご対応いただきたいこと 平時

医療機関において、

- 1) 新規患者の問診等で **予防接種歴** を確認する
- 2) 患者の **連絡先に変更がないか** を確認する
- 3) 職員の **罹患歴** **予防接種歴** などを確認する

年1回程度更新を！
必要に応じて予防接種
をご検討ください

医療機関にてご対応いただきたいこと 発生時

麻しんを疑う患者に対して、

- 1) **罹患歴** **予防接種歴** **海外渡航歴** などを確認する
- 2) **検体採取** を行う ※検体種類は「[千葉県麻しん対応マニュアル](#)」を確認

医療機関において、

- 1) **接触者※のリストアップ** をする ※職員や接触した可能性のある来院者
- 2) 上記の接触者に対し **罹患歴** **予防接種歴** を確認する

保健所に対して、

- 1) 麻しんを疑う患者を診断した旨 **報告** する

なお、社会福祉施設等においても、疑い例が派生した際には接触者のリストアップを依頼させていただく場合がございます。保健所から依頼があった際は、ご協力をお願いいたします。

感染対策は、ワクチン接種が有効です。幼稚園や保育園等予防接種2期対象者が在籍する施設におかれましては、注意喚起に加え、対象者に接種について勧奨してください。

症状

38℃前後の発熱、咳、結膜充血などが約2～4日続き、
解熱後再び39℃以上の高熱と発疹が出現

感染経路

空気感染が主。咳やくしゃみでウイルスが飛散し、ウイルスが空气中を漂う。このウイルスを含んだ空気を吸い込むと感染する可能性がある。そのほか、飛沫感染や接触感染も。

感染可能期間

症状出現の1日前から解熱後3日間まで。発熱ない場合は、発疹出現後5日間まで。

潜伏期間

約10～12日間
21日間程度の場合もある

麻しん

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
国内で初めてヒトからヒトへの感染が確認されました

国内で初めて患者から医療従事者への感染（ヒト→ヒト感染）が確認されました。通常は、ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染したり、感染した犬・猫の体液への直接接触で感染します。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者を診療する際は、**个人防护具（PPE）の使用が重要です**。患者を診療いただく際は、「**重症熱性血小板減少症候群（SFTS）診療の手引き 改訂新版2019**」をご参照の上、感染対策を実施してください。

感
染
症
解
説

重症熱性血小板減少症候群

症状	発熱、消化器症状（嘔吐、下血など）が主
感染経路	主にウイルスを持つマダニに刺されることで感染 ヒトからヒトへの感染も確認
潜伏期間	6～14日
治療	対症療法

【参考】厚労省事務連絡：重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルスの患者から医療従事者への感染事例について

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001230311.pdf>

【参考】国立感染症研究所：本邦で初めて確認された重症熱性血小板減少症候群のヒト→ヒト感染症例

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/sfts/sfts-iasrs/12572-530p01.html>

RSウイルス感染症が増加傾向です 春から夏に増加、夏にピーク！

2024年第13週の県内定点当たり報告数は、0.37（人）となり、**3週連続で増加**しました。（図1）報告数が多かった地域は、船橋市1.55（人）、海匝1.00（人）でした。市川管内報告数は、0.08（人）であり、前週よりも減少しています。（図2）全国的にも報告数の増加が認められています。

感染者の年齢は、0歳～1歳が全体の約半数を占めています。

RSウイルス感染症は、**乳幼児に多い**呼吸器の感染症です。発熱・鼻汁・気管支炎・肺炎といった症状が出ます。

図1：2020年～2024年第13週の県内のRSウイルス感染症の定点当たり報告数

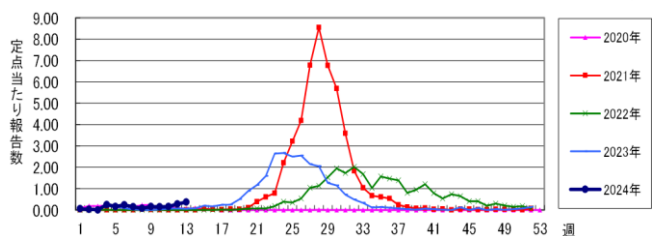
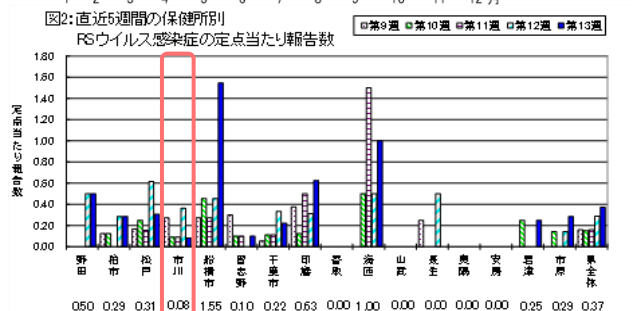


図2：直近6週間の保健所別RSウイルス感染症の定点当たり報告数



接触感染対策
アルコールや塩素系消毒薬による
環境の消毒
流水・石鹸での手洗い

飛沫感染対策
マスク着用や咳エチケット

RSウイルス感染症

症状	発熱／鼻汁などが数日続く（多くは自然軽快）
感染経路	触れた物品や直接の接触で感染（接触感染） 咳やくしゃみ、会話などで出たしぶきを吸い込むことで感染（飛沫感染）
潜伏期間	2～8日（典型的には4～6日）
治療	対症療法

【参考】千葉県結核・感染症週報：第13週／今週の注目疾患

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2413.pdf>

【参考】厚労省：RSウイルス感染症Q&A（令和6年1月15日改訂）

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_ga.html

【参考】日本小児科学会：RSウイルス母子免疫ワクチンに関する考え方

https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=559

インフルエンザ感染症

—— 定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	41	165	64	0	0

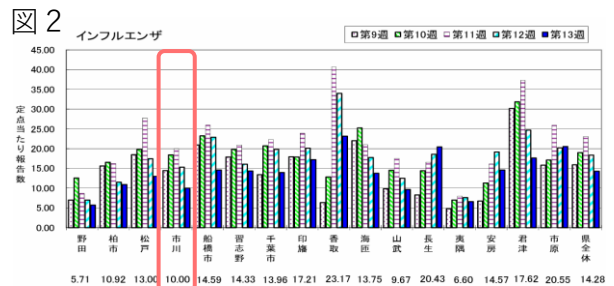
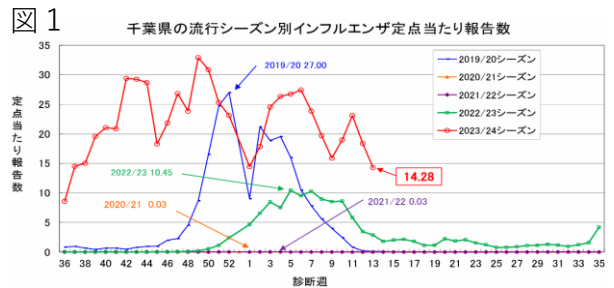
※型非鑑別キット

（医療機関からの型報告なく不明な94例を除く）

第13週の県全体の定点当たり報告数は、14.28(人)と減少しました。（図1）報告数が多かった地域は、香取23.17（人）、市原20.55(人)、長生20.43(人)でした。市川管内の報告数は、10.00（人）でした（図2）。

2024年第13週に県内で報告のあった2617例のうち、A型253例（9.7%）、B型2292例（87.6%）となっており、2024年第5週以降B型が多くなっています。

2024年第13週～第14週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた図です



感染対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202413influenza.pdf>

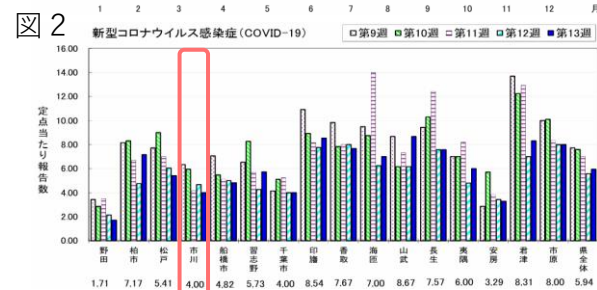
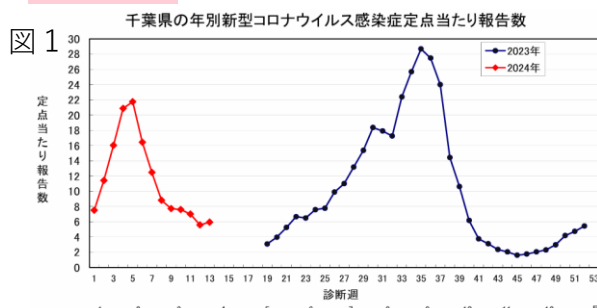
【参考】厚労省：インフルエンザQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2023.html

—— 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第13週の県全体の定点当たり報告数は、5.94（人）でした（図1）。報告数が多かった地域は、山武8.67（人）、印旛8.54（人）、君津8.31（人）でした。

市川保健所管内の報告数は、前週より減少し、4.00（人）となっています（図2）。



感染
対策

インフルエンザを予防する
方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202413covid19.pdf>

お知らせ

—— HIV・性感染症・肝炎検査についてのお知らせです

検査実施日 第1・第3木曜日 ※詳細はホームページをご覧ください

検査内容 HIV／梅毒／B型肝炎／C型肝炎／クラミジア／淋菌

**問い合わせ
予約方法** 市川保健所疾病対策課 電話にて要予約
※市川保健所のホームページをご参照ください

【参考】市川保健所：HIV抗体検査・肝炎ウイルス検査のご案内

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-ichikawa/kenkousoudan/hiv.html>

【参考】千葉県：千葉県内のエイズ等相談・検査

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/soudan.html>

他保健所の情報も
掲載しております

最後に

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了承ください
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします

配信元

千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp